

- ジオフレックスには二重殻パイプのD型をはじめ用途にあわせた3タイプがあります。

- ジオフレックスD型
二重殻構造の油配管用



- ジオフレックスの一般的仕様

	型 式	呼び径	外径 (mm)	肉厚(mm) 内殻/外殻	重量 (kg/m)	使用最大圧力 (kPa)	使用最高温度 (℃)	破壊強さ (kPa)
ジオフレックス-D	GFP-2075	3/4"	30.0	3.1/2.3	0.252	1,030	52	6,030
	GFP-2100	1"	37.0	3.1/2.5	0.312	850	52	5,030
	GFP-2150	1-1/2"	51.3	3.8/2.7	0.833	690	52	4,130
	GFP-2200	2"	64.0	3.8/2.7	1.071	520	52	3,270
	GFP-2300	3"	90.6	5.0/2.9	1.875	520	52	3,440

- 最小曲げ半径

材料寸法	曲げ半径
3/4"	450mm
1"	450mm
1-1/2"	600mm
2"	600mm
3"	1,200mm

- 接続部強度

材料寸法	引き抜き強さ(平均)
3/4"	5,590N
1"	3,930N
1-1/2"	7,130N
2"	9,350N
3"	5,920N



- 使用対象液体

燃料油、ガソリン（ハイオク、レギュラー）、灯油、軽油、A重油、100%メタノール、100%エタノール、トルエン、アルコール混合燃料、SSで使用されると予想される廃油等の蒸発を遮断する性能を有します。

⚠この製品の取扱いについては、製品に添付されている取扱説明書等にしてください。
●法規改正および製品の改良のため、このカタログに掲載されている仕様・デザインなどは予告なしに変更する場合があります。 ●写真などは印刷のため商品の色と多少異なる場合があります。

■給油所地下槽付属品は

JTO 日本タンク装備株式会社
本社 〒247-0006 神奈川県横浜市栄区笠間4-1-1
☎050-9000-0345 ☎045-893-0610

ひたちなか工場 〒312-0005 茨城県ひたちなか市新光町552-47
☎050-9000-5977 ☎029-264-2592

<http://www.jto.co.jp>

●Eメールでのお問い合わせは info-jto@jto.co.jp

お問い合わせは・・・

扱い品目

●検知液方式FF二重殻タンク ●FRPサンブ ●パイププロテクター ●樹脂配管 JTOフレックスⅡ、ジオフレックス ●油面計 ●分配弁 ●ドレンボックス ●マンホールカバー ●スチールアイランド ●E通気弁 ●ペーパーリカバリーシステム ●遠隔式給油口ボックス ●給油口 ●その他付属品

究極の安全配管!!
継手いらず、腐食なし



安全、安心、 過酷な条件に耐える優れた特性

■ 腐食(電食)の心配、まったく無し

ジオフレックスの構造は油に触れる内面がフッ素樹脂、その外側がポリエチレン、ナイロン等の8層構造になっています。石油製品や薬品による影響はもちろん、土壌からの腐食、電食の心配はまったくありません。

■ 破壊力にも埋設圧力にも抜群の強さ

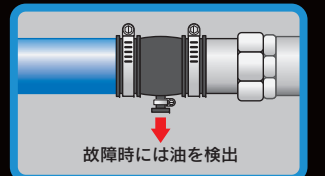
8層でできたパイプは強靱な強さと、優れた耐圧性を持ち、土圧、輪荷重にも十分対応できることが現場でのテスト、実験で立証されています。

■ 地震にも安心

柔軟なパイプが揺れを吸収、地震にも安心です。



■ 万一の内管故障も
テストブーツで早期に発見
マンホール内にはテストブーツを取付け
ジオフレックスが完璧な状態であることを
常に監視します。

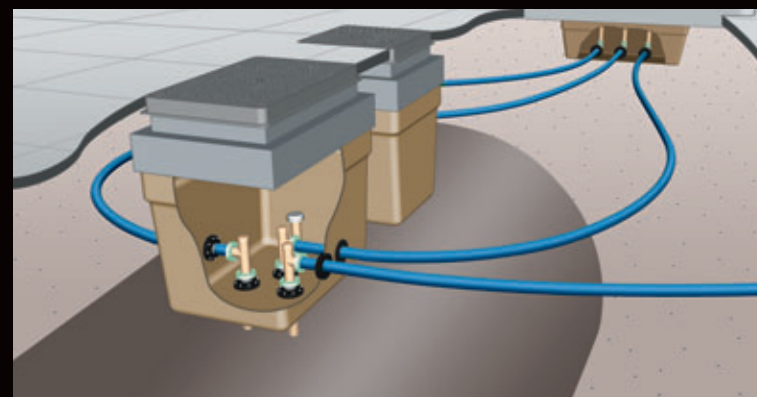


フレキシブル樹脂配管

ジオフレックスTM
GeoFlex は
究極の安全配管

腐食なし! 継手なし! 管破損なし!

従来の油配管は被覆鋼管を使い、直管を溶接により地中でつなく工法でした。そのため漏洩事故の原因は腐食と、接続部(溶接箇所、エルボ、チーズ)不良が大半を占めていました。(米国環境保全局による1986年の調査) このフレキシブル配管“ジオフレックス”は非腐食性の最先端素材を使用し、曲げ半径が小さくフレキシブルな配管を可能にしました。このため埋設部での接続が無くなり、接続は地上から点検できるマンホール内だけとなり、漏洩事故の心配がまったく無くなりました。また、万一内側パイプが故障した際にも漏洩事故の起こらない二重殻構造など、幾重にもカバーされた究極の安全配管として安心してお使いいただけます。



工期短縮、 コスト削減にも効果を発揮

軽く、作業負担を軽減。しかも、長尺でフレキシブルな配管ができるので、配管距離が短くなり、地中での接続も無いので施工時間が短縮されます。切断や接続金具取付などは、専用工具を使用して簡単におこなえます。(もちろん、溶接などいっさい不要です。)



接続金具取付